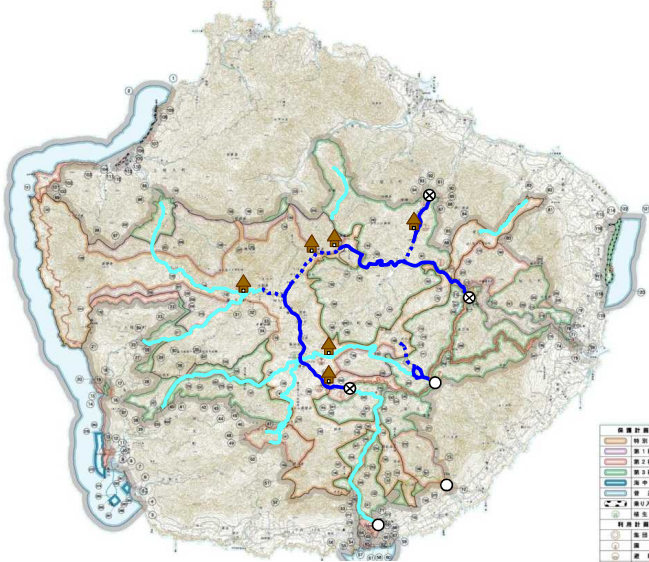


ゾーニング (たたき台) について

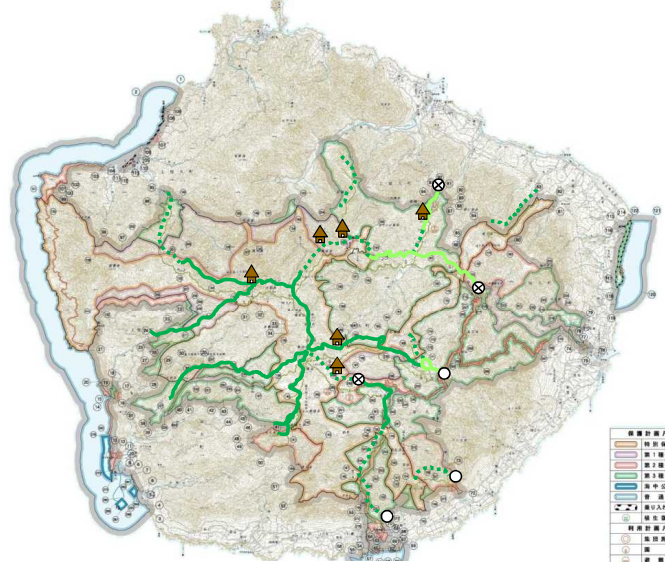
1. 利用や自然の状態に関する項目ごとに各ルート进行区分したゾーニング

◎ 利用頻度でルートを区分



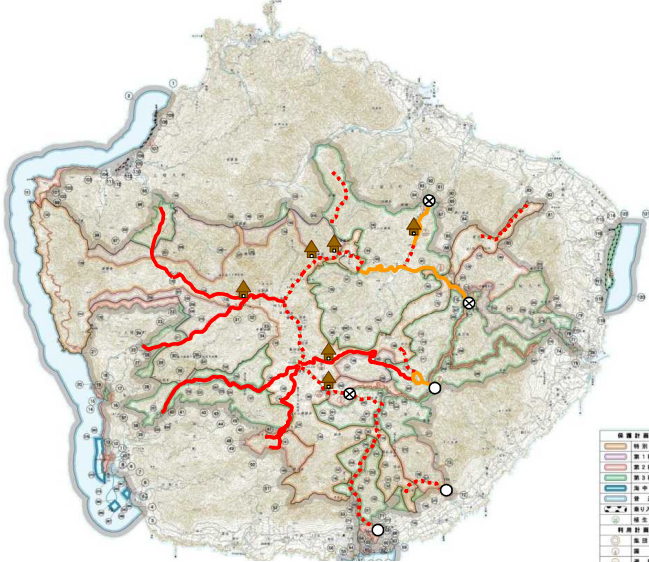
- 頻繁に利用される
- - - 一定の利用がある
- 利用が少ない

◎ 体感できる自然でルートを区分



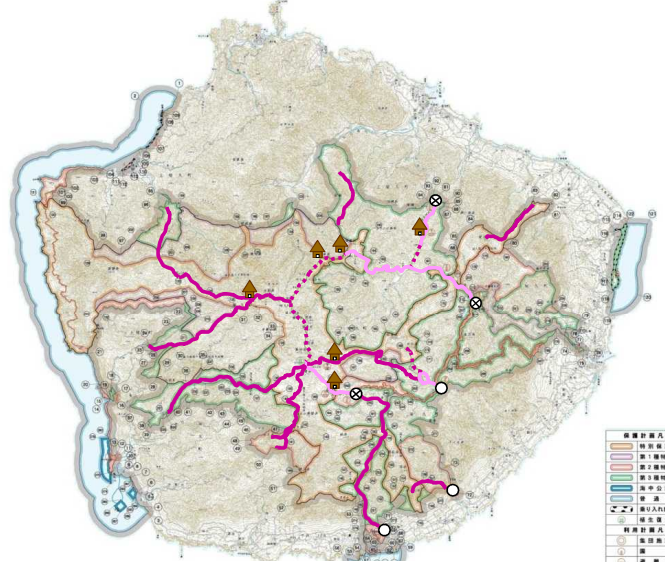
- 自然度が非常に高い
- - - 自然度が高い
- 自然度がそこそこ高い

◎ 利用環境の厳しさでルートを区分



- 極めて厳しい
- - - 厳しい
- 油断できない

◎ 登山施設の充実度によるルートの区分



- とても充実している
- - - 充実している
- 充実していない

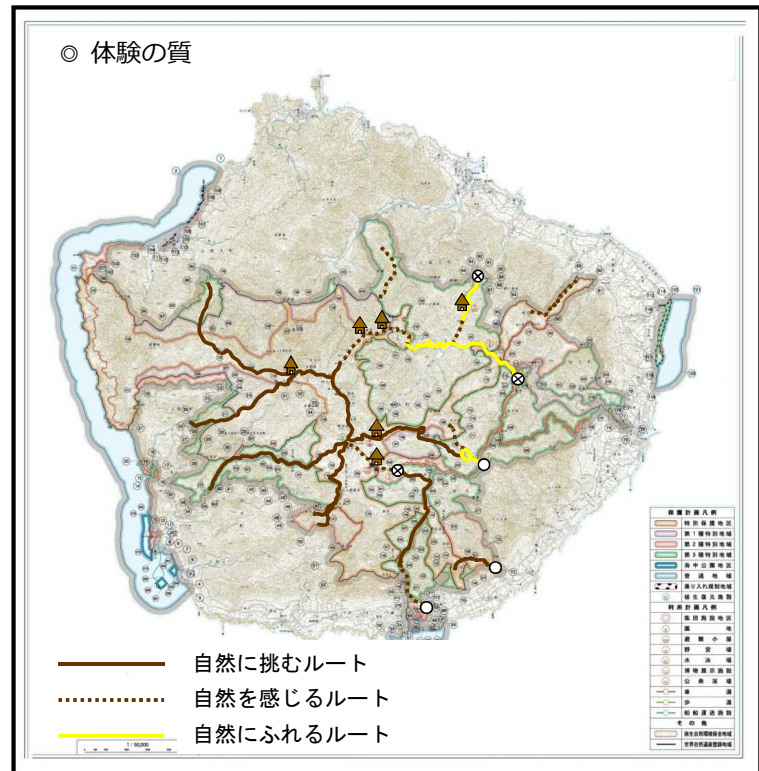
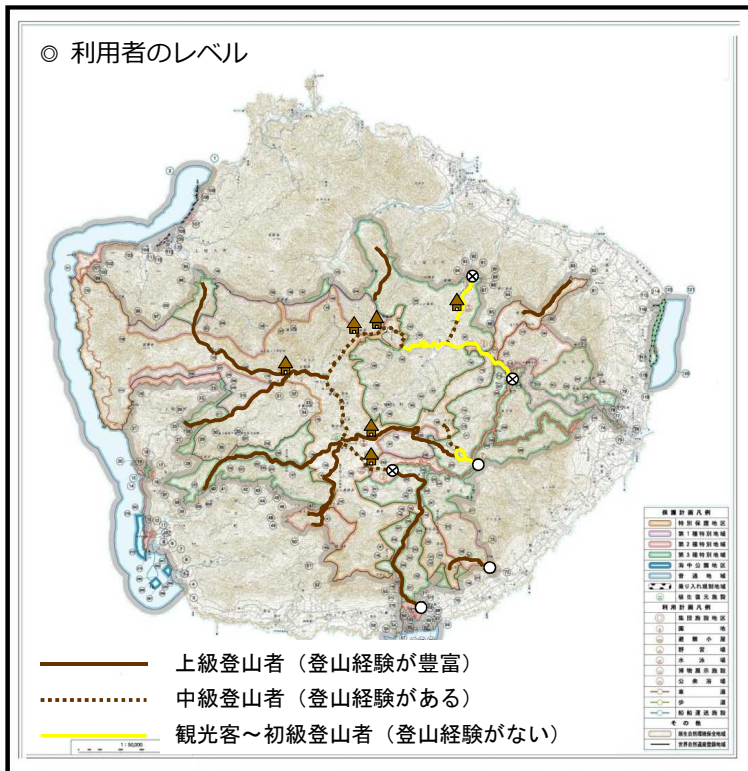
※ どのような項目にするか、どのように区分するかについては、検討が必要。

※ 提示しているのはあくまで例え。

2. 利用や自然の状態に関する項目の区分からルート上の階級を分ける

No.	路線名	項目ごとのルートの区分				ルートの階級					
		①利用頻度	②利用環境の厳しさ	③体感できる自然	④施設の充実度	②+④ 利用者のレベル		②+③ 体験の質			
1	竜神杉線	利用が少ない	1 厳しい	2 高い	2 充実していない	3	→	上級登山者	5	自然を感じる	4
2	愛子岳線	利用が少ない	1 厳しい	2 高い	2 充実していない	3	→	上級登山者	5	自然を感じる	4
3-1	白谷雲水峽	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	1	→	観光客～初級登山者	2	自然にふれる	2
3-2	楠川線 (太鼓岩～楠川分れ)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実している	2	→	中級登山者	4	自然を感じる	4
4-1	永田線 (登山口～竹の辻)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 高い	2 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	5
4-2	永田線 (竹の辻～鹿之沢小屋)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
4-3	永田線 (鹿之沢小屋～永田岳)	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
4-4	永田線 (永田岳～焼野三叉路)	一定の利用がある	2 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
5	花山線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
6	花之江河ヤクスギランド線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
7-1	ヤクスギランド	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	1	→	観光客～初級登山者	2	自然にふれる	2
7-2	太忠岳線 (蛇紋杉～太忠岳)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実している	2	→	中級登山者	4	自然を感じる	4
8-1	宮之浦岳縄文杉線 (トロッコ道)	頻繁に利用される	3 油断できない	1 そこそこ高い	1 とても充実している	1	→	観光客～初級登山者	2	自然にふれる	2
8-2	宮之浦岳縄文杉線 (大株歩道)	頻繁に利用される	3 厳しい	2 高い	2 とても充実している	1	→	中級登山者	3	自然を感じる	4
8-3	宮之浦岳縄文杉線 (高塚小屋～平石岩屋)	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実している	2	→	中級登山者	4	自然を感じる	4
8-4	宮之浦岳縄文杉線 (平石岩屋～花之江河)	頻繁に利用される	3 厳しい	2 非常に高い	3 充実している	2	→	中級登山者	4	自然に挑む	5
8-5	宮之浦岳縄文杉線 (淀川口～花之江河)	頻繁に利用される	3 厳しい	2 高い	2 とても充実している	1	→	中級登山者	3	自然を感じる	4
9	栗生線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
10	湯泊線	利用が少ない	1 極めて厳しい	3 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	6	自然に挑む	6
11	モッコヨム岳線	一定の利用がある	2 厳しい	2 高い	2 充実していない	3	→	上級登山者	5	自然を感じる	4
12-1	尾之間線 (登山口～蛇之口滝)	利用が少ない	1 厳しい	2 高い	2 充実していない	3	→	上級登山者	5	自然を感じる	4
12-2	尾之間線 (蛇之口滝～淀川口)	利用が少ない	1 厳しい	2 非常に高い	3 充実していない	3	→	上級登山者	5	自然に挑む	5

3. ルートを階級分けしたゾーニング



※ どのような基準で、こういった階級を定めるかについては、検討が必要。

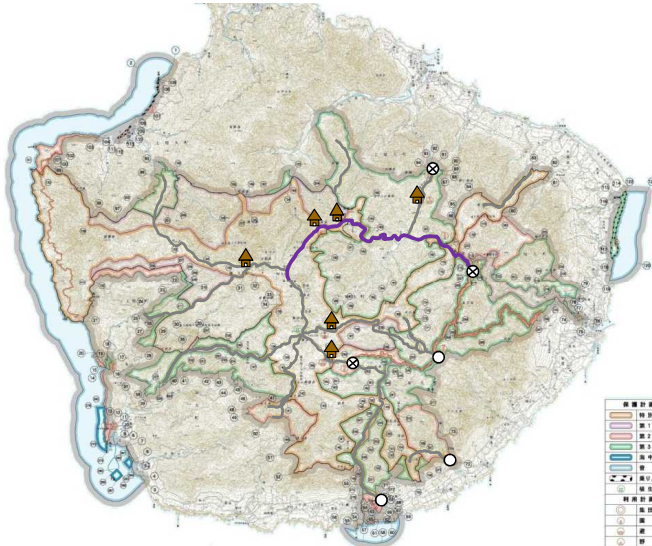
※ 提示しているのはあくまで例え。

4. コースを階級分けしたゾーニング

- ・日帰り登山のコースについて、階級分けをしてみた例が数下図のとおり。
- ・往復に係る所要時間や累積標高差で、コースの厳しさを整理して、階級分けをする。
- ・1泊2日の登山コースまでは同様の階級分けをするが、2泊以上するコースについては触れない。

◎ 無謀なコース (X)

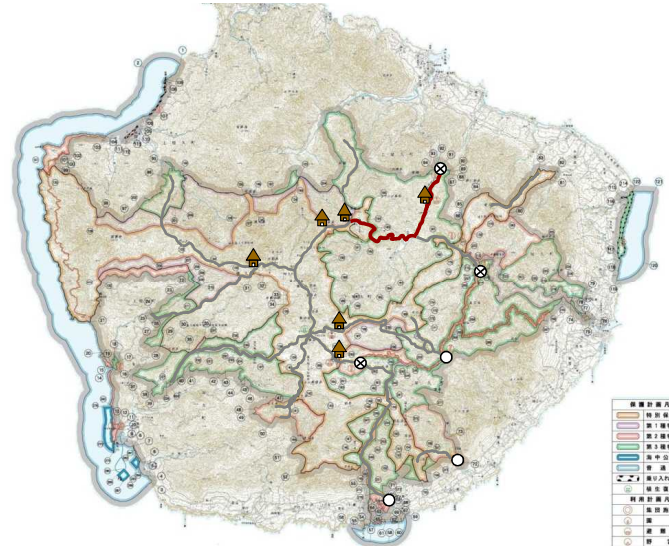
宮之浦岳 日帰り往復 (荒川登山口)



- ・所要時間○時間、累積標高差○mの無謀なコース。
- ・帰りの登山バスの時間に間に合うように往復するには自然を楽しむ余裕はありません。

◎ ハードな上級者向けのコース (A)

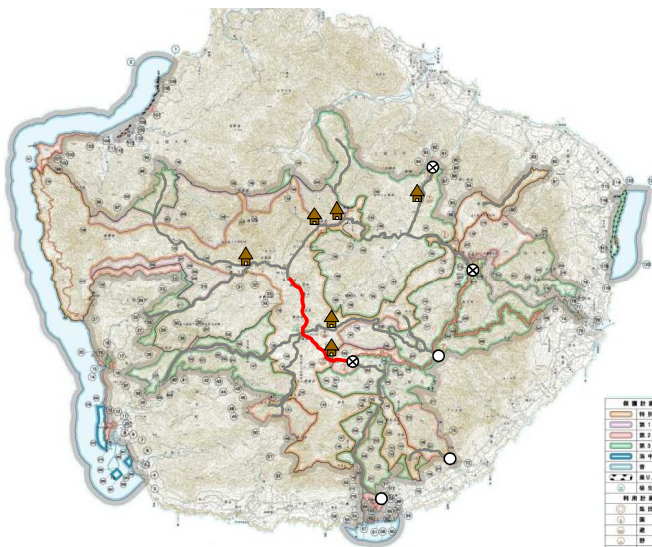
縄文杉 日帰り往復 (白谷雲水峡)



- ・所要時間○時間、累積標高差○mのハードな上級者向けのコース。
- ・相当の体力と経験がなければ、楽しんで往復することはできないコース。

◎ 上級者向けのコース (B)

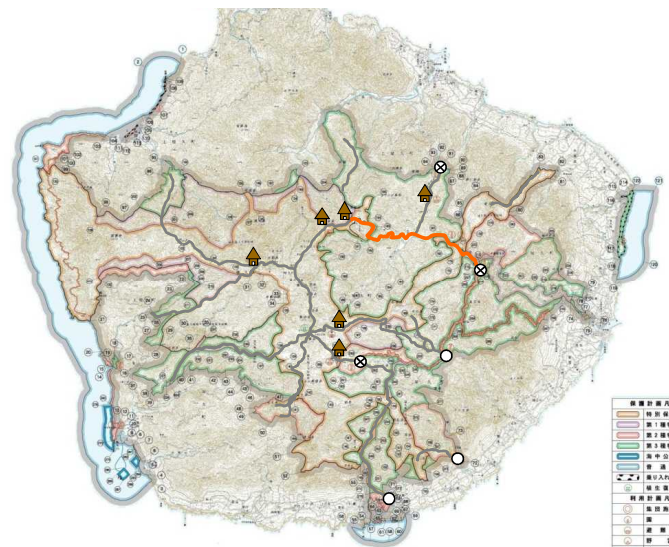
宮之浦岳 日帰り往復 (淀川登山口)



- ・所要時間○時間、累積標高差○mの上級者向けのコース。
- ・体力と経験が必要。急な天候変化などに対応できるよう十分な装備が必要。

◎ 中級者向けのコース (C)

縄文杉 日帰り往復 (荒川登山口)



- ・所要時間○時間、累積標高差○mの中級者向けのコース。
- ・歩行距離が長く、時間もかかるうえ、最後まで気を緩められないコース。

※ どのような表現にするかは、検討が必要。提示しているのはあくまで例え。